

新板
祇園
踊口
段

別 17
28



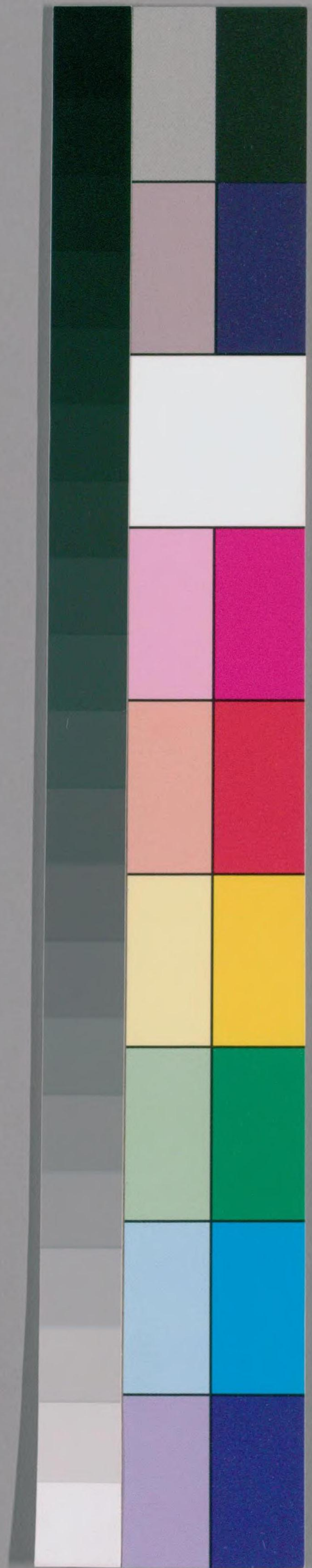
国立国会図書館 タイトル『新板ぎおんおどりくどき』 請求記号 本別17-28

ガラス使用

珍

新板ぎおんおどりくどき

別17
28



国立国会図書館 タイトル『新板ぎおんおどりくどき』 請求記号 本別17-28

ガラス使用

目次

三 悟心中 岐の雲
壬生の猿人ふすまの賣
傾城おどり歌



意乃山ぞろへ
おんぼの竹づくし
おくりぶつ々音葉賣
八島八景くどき
常流くどきつれぢ
諸国南づくし
日待の火まはし



新板京所づくし踊口役
傾城身の上十段目
近江八景名和物語音頭
常流まろづくし
難波のつづくし踊口役
大阪橋づくし
お春の辰初め替り踊口役
身の上お物語
芝居役者あつた

以上抄拾 三馬

U 9413

申しつゝは万葉集のむすぶのひつり婦たるのありとせしむ
らむにやうはたはむらじのりちるんはあまびいあまにわこられた
風のしらぬあまのむらじのりちるんはあまびいあまにわこられた
いあまのりちるんはあまのむらじのりちるんはあまのりちるんは
のりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
そのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
のりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
つゝえんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
えんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
つゝえんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
えんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは

八景後八景のうた

あつちのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは
あまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんはあまのりちるんは



かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに

かきつり町

かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに
かきつり町は多入川に居りて其の川は流るるに



Handwritten text in a cursive style, likely a form of shorthand or a specific dialect. The text is densely packed and runs vertically down the page.

新板ぎおんおどりくどき

Handwritten text in a cursive style, continuing the content from the right page. It is densely packed and runs vertically down the page.

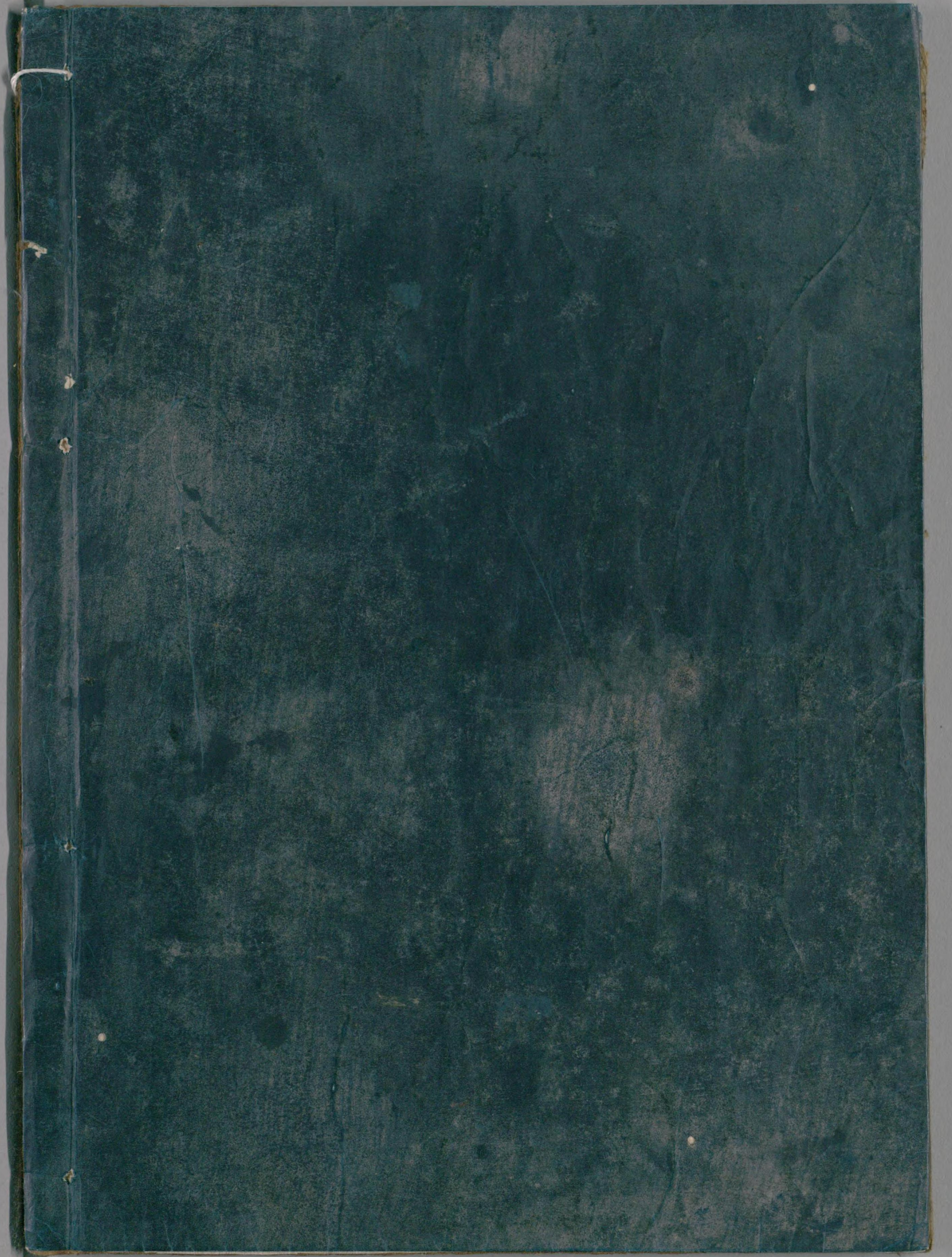


別17
28

大正十五年十月二日購入す代物實に金參百圓也
下の文字研字史料蒐集の定易もきげんなるふと又世書史
張師系するもの付して其等の實に供せんのみ
亦特ニ多の價を付記す今わきより日新活利史と併
せてソノ由り因縁を攷り入らば 終に前記の途うふ
海を以て款せんはらふ 此等書史の史料の借
受不能の地ニ轉賣せしむるをさしは書ニ骨を前
らんとすのみいふ事ハ 此に書かれし身ニ生涯
其の悔を犯へり也

湖山文庫主人 高望辰之識





国立国会図書館 タイトル『新板ぎおんおどりくどき』 請求記号 本別17-28

ガラス使用